


令和6年度退職教員の紹介

部局名	大学院医学系研究科・医学部	
氏名	大須賀 穰	
職名	教授	
本学在職期間	平成4年6月～令和7年3月	
所属	生殖・発達・加齢医学専攻 産婦人科学講座 分子細胞生殖医学分野	
専門分野	産婦人科学	
略歴	<p>昭和60年3月 本学医学部医学科卒業</p> <p>昭和60年6月 本学医学部附属病院 医員(研修医)</p> <p>昭和63年4月 本学医学部附属病院 医員</p> <p>平成4年6月 本学医学部附属病院 助手</p> <p>平成7年5月 博士(医学)(東京大学) 取得</p> <p>平成7年7月 Stanford大学 留学(～平成9年9月)</p> <p>平成16年11月 本学医学部附属病院 講師</p> <p>平成23年10月 本学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 准教授</p> <p>平成25年5月 本学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 教授</p> <p>平成31年4月 本学医学部附属病院 副院長 兼務</p>	
研究内容	<p>一般社団法人日本生殖医学会編、『生殖医療ガイドライン』杏林舎、2021年</p> <p>Osuga Y, Fujimoto-Okabe H, Hagino A. “Evaluation of the efficacy and safety of dienogest in the treatment of painful symptoms in patients with adenomyosis: a randomized, double-blind, multicenter, placebo-controlled study.” <i>Fertility and Sterility</i> 108 (2017): 673-678</p>	